



「今月の祈り」

主なる神さま。主の日を迎え、私たちはキリストの体なる教会に集い、あなたの御名を賛美いたします。

これまでの歩みを支え、あなたの祝福の内に置いて下さったことに感謝致します。それぞれの人生の中では、いろいろな不安と恐れ、具体的な病や問題が、繰返し私たちを襲ってきます。明日何が起こるのか、誰にも分かっていません。一人ひとりが、多くの重荷を背負い、むしろ背負いきれない重荷を抱えて生きております。

私たちの苦しみの祈りを、そのうめきを聖霊によって執り成し、祈りを聞き届けて下さい。どのような道が私たちの前に立ちほだかろうとも、あなたは常に私たちの傍らに立ち、時に御翼のかげに憩いを与えてくださり、力強い御手で支えてくださっています。そのことを思い起こし、与えられている恵みを数える生き方へと、どうか私たちを導いてください。

共にあなたの教会に連なりながらも、礼拝を守ることの出来ない方々、特に病の床で苦しみ、弱さに翻弄されている方々を、あなたが強めて下さいますように切に願います。

神さま、世界の平和のために祈ります。

紛争や争いをもたらしてしまった現実に、深い悲しみを覚えます。どうか、ひと時も早く平和をもたらせてください。愛する人、家や財産を失ってしまった人たちに慰めが与えられますように。恐怖の中を逃げまどい、命の危機にある人たちが守られますように。避難している人たちの必要を満たしてください。

自分を主としてしまう、国の為政者たちに、あなたの聖なる霊を注いでください。自分を主とするのではなく、あなたを畏れ敬う者となりますように。神さま、闇の中にいる人々がキリストのあたたかな光で包まれますように。あなたが「良いもの」として造られた全地を、癒してください。

神さま、世界の教会を強めてください。その一つの枝として、この北千里教会に連なる私たち一人一人も強めてください。私たちが、あなたの愛と真実に生きることが出来ますように。十字架の主から委ねられた和解のつとめを果たすことができますよう、力をお与えください。

この祈りを、主イエス・キリストの御名によって御前におささげいたします。

アーメン。

日本キリスト教団
北千里教会

牧師 宮岡 真紀子

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台4丁目5-10

電話 (06) 6834-0978

郵便振替 00940-2-131583

口座名義 日本基督教団北千里教会

kitasenri.ch@gmail.com

<https://www.kitasenriyokai.info/>

教会員のページ

「信徒の集い～リビングウィル～」

宮崎 祐

第2回信徒の集いとして、「リビングウィル(人生の最終段階における私の希望)」について学ぶ時を持ちました。宮岡真紀子牧師より概略とクリスチャンとして取り組む意味を聞き、宮阪信次さん、堀河昌子さん、北田真理子さんから、家族を天に送った時の体験をお聞きしました。

開会にあたり、午前・午後と座りっぱなしになる体をほぐす体操の時間 o(^o^)o、そして讃美歌を歌って始めました。「こぺてりあ」のコッペパンサンドの昼食におやつ付き。思えば、共に食べ、歌い、語り合うというのは、イエスさまの昔からされてきたことですね。

親しい人を見送ることは、時間の長短に関わらず、胸に刻まれた悲しさは深いものだと思いますが、お話しくださった3人の方々から、神さまに支えていただくことの強さと癒しを感じました。

自分の人生の最後をどのように迎えるかについて、なかなか安心して話し合える場は少ないのではと思います。体験を共有してくださったことを感謝します。人生は本当に十人十色、一人ひとりが神さまの前に1人の存在として、尊いのだなあと改めて感じられました。

リビングウィルは、延命措置に係る医療機関への意思表示を含む「人生の最終段階における私の希望」ですが、神さまに与えられた命、私と神さまの関係を改めて見直すきっかけにもなるものです。そして、親しい関係にある人との間で、命、意志、存在を尊重してもらう、そのために支え合う約束のようなのだと思いました。気持ちや行動の全てがついていくのには時間がかかることかもしれません。そのことを教会の兄弟姉妹の皆さんと分かち合えるのは、とてもありがたいことだと思いました。

そして、今回の趣旨から少し外れるのですが、皆さんのお話の中で語られた「我が家が一番」、「家に帰りたい」という思い。災害や紛争で帰る場所を失った方々の傷の深さを改めて思い、祈りたいと思いました。